

海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト  
2020

実績報告書

山王ひなた美術教室

公益財団日本財団  
海と日本プロジェクト2020

# 海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクトについて

## プロジェクトの意義

山王ひなた美術教室は、2020年10月3日(土)～2021年1月24日(日)にかけて、「海からみつめる子どもランドスケープ『ふくおか』」を開催しました。

本来は子ども達が一番海を楽しむことが出来る6月から9月にかけてのプログラムを多く準備していましたが、2020年は年初から新型コロナウイルス感染症拡大により、事前の計画をたびたび変更し、より感染防止に努めたプログラムへの実施となりました。コロナ禍にあっても子ども達の好奇心や海への思いは、プログラムを通じて今年もひしひしと伝わる結果となりました。

この取組みは日本財団助成事業三年目の開催でもあり、多くの子ども達が参加してくれた昨年の募集広報を踏襲し、美術教室の子どものみならず、福岡県内の広範囲の参加者を集めた事業となりました。子ども達の未来や、福岡のまちを「海と関わり合うまち」にするために、博多・壱岐そして新たに美術工作や絵画表現を取り入れたプログラムを軸に、子ども達と一緒に美しい海を思いっきり遊び、暮らしを体験し、その生みの経験を工作と絵画に表しました。このイベントは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる“日本財団「海と日本プロジェクト2020」”の一環です。

福岡市の子ども達は、ひとり親世帯・多子世帯・共働き世帯・多文化(外国籍)等多様な背景を持っています。そのような背景を持った多くの子どもたちには、「ふくおか」の文化・歴史・食が豊かな海によってもたらされていることに気付く機会が不足しています。本イベントで子ども達には、地域の人々が海と関わり合いながら生きていることを学び、その学びから福岡と海の強い結びつきを再発見してもらいました。今年はその体験から導き出された子ども達のアイデアを「絵画制作」の形で多くの皆さんに鑑賞して頂くことが出来ました。博多の学び、壱岐の学びと充実した体験イベントを行いました。平戸の学びについては、残念ながら開催地から要請があり、コロナ感染防止の観点から受け入れを中止せざるを得ませんでした。また昨年実施した小学校体育館で行った創作と展示である「ランドスケープ展」についても密になるのを避けるために、福岡アジア美術館での「作品展」に変更となりました。

しかし事業変更の中でも子ども達の学びや体験は、しなやかで力強く、その成果は作品を通じて私たちに迫ってくるものがあります。コロナ禍の中でも様々なステークホルダーが協力し合い、魅力的な制作展示の展覧会が開催され、多くの来場者がプロジェクトを楽しみながら海とまちの関係を開講するきっかけとなりました。

## 参加した子ども達へ

このプロジェクトは、「海のことが好きになれるまち」を、絵画制作でいていあんとする試みでした。どんなものがあれば、海のことが好きになれたでしょうか？見ていてワクワク・ドキドキするもの、便利なもの、形がへんてこなもの。海とつながりがあるものならなんでもOKです。みんなの力とアイデアを出し合って、これからも自分たちの住んでいる「ふくおか」のまちを考えていきましょう。

今年は今も豊かな海との暮らしが息づいている「壱岐(いき)」と「平戸(ひらど)」に行ってみるプロジェクトを計画していました。残念ながら平戸はコロナにより中止となってしまいましたが、みんなの豊かなそうぞうりよくと、体験できたさまざまな海をその目と体で確かめて、絵画表現に活かすことが出来ました。これからも色々な海と一緒に体験し、日本がたような海にかこまれていることに気付きましょう。

# 『海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」』

期間:2020年10月3日(土)~2021年1月24日(日)

対象:福岡市在住の小学生及び中学生

主催:山王ひなた美術教室

助成:公益財団法人日本財団「海と日本プロジェクト」

協力:一般社団法人ふくおかFUN 根獅子町集落機能再編協議会 みなとやゲス トハウス 山彦舎 一般社団法人壱岐市観光連盟 壱岐市立一支国博物館 一般社団法人平戸観光協会 九州産業大学造形短期大学部

後援:福岡市 壱岐市 平戸市 福岡市教育委員会 壱岐市教育委員会 平戸教育委員会 (社福)福岡市社会福祉協議会 (公財)福岡市文化振興財団 西日本新聞社 毎日新聞社 朝日新聞社 RKB KBC

協賛:ペペオジャポン ペリカン ターナー色彩

## 博多:海と子どもの学び~海と日本PROJECT~

2020年10月12日(月)~10月17日(土)

福岡市博多区山王1丁目5-17山王ひなた美術教室

## 壱岐:海と子どもの学び~海と日本PROJECT~

2020年10月3日(土)~10月4日(日)・10月10日(土)~10月11日(日)

長崎県壱岐市芦辺町とその周辺、絵画プラン制作

## 平戸:海と子どもの学び~海と日本PROJECT~

2020年8月15日(土)~8月16日(日)・9月12日(土)~9月13日(日)

長崎県平戸市と根獅子町周辺、絵画プラン制作

※コロナ感染症拡大防止の為中止

## 芸術大学ワークショップ~海と日本PROJECT~

2020年10月18日(日)・10月25日(日)

福岡県福岡市東区九州産業大学造形短期大学

## お寺でお魚絵画コンテスト~海と日本PROJECT~

2020年11月14日(日)

福岡県福岡市博多区光薫寺

## 海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」絵画コンテストの実施と展示~海と日本PROJECT~

2021年1月21日~24日

福岡市博多区福岡アジア美術館

事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

## 1)オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	博多:海と子どもの学び～海と日本PROJECT～
イベントの目的・ねらい	<p>海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)は、福岡の子ども達が、自分たちの住んでいる福岡を「海のことが好きになれるまち」として模型作りで提案する試みです。どんなものがあれば、海のこと好きになれるかな?見ていてワクワク・ドキドキするもの、便利なもの、形がへんてこなもの。海とつながりがあるものならなんでもOKです。美術教室ならではの美術制作で海の新しい可能性を子どもたちと一緒に発見します。</p> <p>第一弾の「博多プロジェクトは、まず福岡の海を知ることから。ですが、コロナ感染症拡大を受けて、多くの人々との交流や密な状況を割けないといけなくなりました。子ども達の海に対する学びを止めない為にも、今年は「博多プロジェクト」の学びをリモート授業に変更し、プロジェクトを通じて博多の海をよく知るダイバーから日替わり授業を実施しました。</p> <p>博多湾の保全を行っている一般社団法人ふくおかFUNの協力で、リモートによる「ふくおか」の海を学びました。今まで知らなかった、福岡の海、博多湾についてたくさん学びました!ふくおかの海をよく知っているダイバーから、美しいふくおかの海、そして環境を守らなくてはいけないふくおかの海をたのしくレクチャーやクイズで参加者も楽しく学ぶことが出来ました。</p> <p>そして私たち自身で身近なところから始める海を守る習慣や取り組みは何かを考える1週間としました。</p>
日程	2020年10月12日(月)～2020年10月17日(土)
開催場所	福岡市博多区山王1丁目5-17山王ひなた美術教室
参加人数	70名(小学生及び幼児、保護者及びスタッフ含) 光薫寺97名 まもる一む53名
主催	山王ひなた美術教室
共催	
協力	一般社団法人ふくおかFUN
告知方法	自団体ウェブサイトおよびフェイスブック・ブログによる告知。福岡市及び福岡市教育委員会後援による指定小学校へのリーフレット配布(15,000枚)。福岡市中央児童会館や市役所へのB2ポスター掲示。

事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

### イベント1 内容

一般社団法人ふくおかFUNによる、「ふくおか」の海を知る・学ぶ・楽しむレクチャー(リモート)「ふくおかFUN」のダイバーさんと、山王ひなた美術教室の子ども達がプロジェクターを通じてコミュニケーションをとり、クイズ形式の福岡の海の学びを行いました。福岡の海を調査、保全をしているダイバーのふくおかFUN代表の大神弘太郎さんとダイバーの皆さんから、福岡の海について今の環境問題やかわいい生き物の紹介等子供たちが楽しく学びながら深く知ることが出来るレクチャーを受けました。

### リモート授業による学びの様子





事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

イベント1  
内容

一般社団法人ふくおかFUNによる、「ふくおか」の海を知る・学ぶ・楽しむレクチャー(リモート)「ふくおかFUN」のダイバーさんと、山王ひなた美術教室の子ども達がプロジェクターを通じてコミュニケーションをとり、クイズ形式の福岡の海の学びを行いました。福岡の海を調査、保全をしているダイバーのふくおかFUN代表の大神弘太郎さんとダイバーの皆さんから、福岡の海について今の環境問題やかわいい生き物の紹介等子供たちが楽しく学びながら深く知ることが出来るレクチャーを受けました。

リモート授業による学びの様子



事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

イベント2  
内容

ダイバーから学んだ今日の気付きや海を考えるアイデアプラン制作  
今日のクイズやまもる一む福岡の施設を見学した後に、参加者は今日学んだことと実際の海を子どもたち自身が重ね合わせて考えてみました。気付きや学びをアイデアプランや計画書に表してみます。手を動かす制作を行うことによって子どもたちがふくおかの海を自分ごとに出来ました。

リモート授業による学びの様子



事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

### 3)その他

参加者の声(子ども)	<ul style="list-style-type: none"><li>○海の深さを知って良かった</li><li>○魚の目の違いがいろいろ知ることが出来てよかった</li><li>○海のゴミがどれくらい経ったら無くなるか分かって良かった</li><li>○見せてもらった画像に魚が1000匹いたのがびっくりだった</li><li>○博多湾の海に魚が1000種類ほどいることに驚いて、博多湾について興味を持つことが出来た</li><li>○クラゲがきれいだった</li><li>○魚にはいろいろ理由があると知ることが出来ました</li><li>○海クワガタいるのがすごいと思いました</li><li>○授業を聞いて、知っていた魚がいることがうれしかった</li><li>○お魚がかわいかった</li><li>○ダイバーの質問コーナーが楽しかった</li><li>○ほとんどのひとがゴミを捨てたりしていることが分かりました。ちょっと海に近づけた</li><li>○いろいろと魚のことを知ることが出来たので、もっといろいろ知りたいです</li><li>○魚には鼻毛があったこと知らなかった。びっくり!</li><li>○リモートで授業が出来て楽しかった</li><li>○海の魚は海の中のゴミやマイクロプラスチックごみで困っていると思いました</li><li>○ダイバー先生のお魚クイズが楽しかった</li><li>○絵が楽しかったし、難しかった</li><li>○ダイバーゆみ先生の授業が楽しかった</li><li>○魚をいっぱい知ることが出来て、いっぱい絵が描けたので楽しかった</li><li>○魚ってすごい!ゴミは駄目!</li><li>○海の中のゴミで、ビニール袋が捨てられていることを知りました</li><li>○リモート授業で、海のたくさんの生きものの顔が見れてよかった</li><li>○海にはゴミがいっぱいあったので、海や川にごみを捨てたらだめだと思いました</li><li>○リモートでマイクロプラスチックごみのことを初めて知りました</li><li>○海のゴミはいろいろな生き物がゴミを間違えて食べてしまったり、影響を与えてしまっているので、これからごみを減らすためにゴミをできるだけ捨てないで、影響を与えず平和な海が知りたいです</li><li>○海の生き物が可愛かった</li><li>○海にはゴミがたくさんあるので気を付けてください</li></ul>
------------	--



事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

## 1)オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	壱岐:海と子どもの学び～海と日本PROJECT～
イベントの目的・ねらい	<p>海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)は、福岡の子ども達が、自分たちの住んでいる福岡を「海のことを好きになれるまち」として模型作りで提案する試みです。どんなものがあれば、海のことを好きになれるかな?見ていてワクワク・ドキドキするもの、便利なもの、形がへんてこなもの。海とつながりがあるものならなんでもOKです。美術教室ならではの美術制作で海の新しい可能性を子どもたちと一緒に発見します。</p> <p>第二弾の「壱岐プロジェクト」は、舞台を玄界灘に浮かぶ壱岐に移して、福岡の子ども達が経験したことのないような透き通った海に大興奮! 私達の暮らしの中にこんな海が身近にあることが、どんなに素晴らしい事が体験しました。</p> <p>一泊二日の壱岐の海を経験し、その海と人々の関りを歴史や文化から学び、そして今の人々の変わりのない暮らしを、壱岐の人と一緒に過ごしてみました。この経験を自分たちの暮らしている福岡のまちづくりにどのように生かしていくのか? 子ども達は、自分たちが暮らしている街だからこそ、もっとこんな海と関わり合う街になってほしいと気付けたはずです。</p> <p>この気付きを大切に、実際に子供たちの意見やアイデアを反映させた福岡のまちづくりを行います。それがランドスケープ「ふくおか」です。福岡の海と街に愛着が子ども達の中に生まれるプロジェクトです。</p>
日程	2020年10月3日(土),4日(日)の1泊2日 10月10日(土),11日(日)の1泊2日
開催場所	長崎県壱岐市芦辺町とその周辺
参加人数	70名(小学生及び幼児、保護者及びスタッフ含)
主催	山王ひなた美術教室
共催	
協力	一般社団法人壱岐観光連盟 みなとやゲストハウス 一支国博物館
告知方法	自団体ウェブサイトおよびフェイスブック・ブログによる告知。福岡市及び福岡市教育委員会後援による指定小学校へのリーフレット配布(15,000枚)。福岡市中央児童会館や市役所へのB2ポスター掲示。

事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

イベント1  
内容

福岡の子ども達が長崎県壱岐を訪れる

「壱岐」は長崎県ですが、福岡から多くの船便があるように、昔から親しみがある島です。しかしながら時には厳しい風景を見せる島でもあります。玄界灘に浮かぶ島として荒ぶる顔を持っています。このような場所で、子ども達は親から離れてどのような体験を海を通じたプログラムで受け取るでしょうか。そしてその経験をどんな表現につなげてくれるかとても楽しみです。

時には厳しい姿を見せる壱岐の海の様子



## イベント1 内容

### 沓崎市一支国博物館見学・レクチャー・アイデアプラン制作

一支国博物館は、沓岐島が古代より朝鮮半島と日本の交易で栄えた島として、様々な遺跡や資料を発掘・整理している近代的な博物館です。その一支国博物館で、参加した子ども達は、古代の人たちが食べていたサザエやアワビの殻を見て、その大きさにびっくり！ 沢山の遺物を鑑賞し、見やすく整理された古代の暮らしのジオラマをみんな楽しみました。そして体験ルームで、体験した沓岐(一支国)の歴史から大陸との交流として重要な島の歴史を学び取ることが出来ました。そして「海」は交流のために重要な役割を持っていました。みんなの海の交流に対するアイデアをたくさん考えてもらいました。

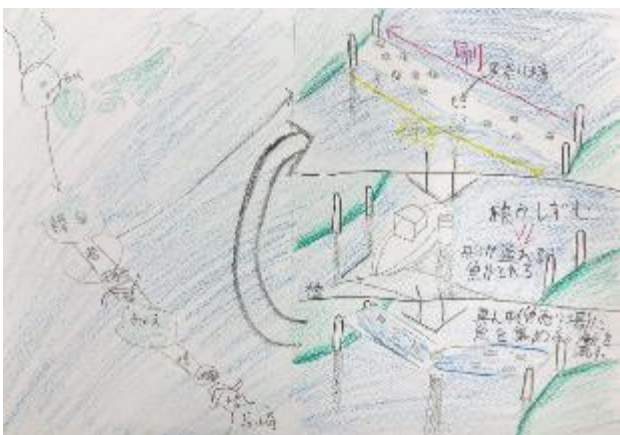
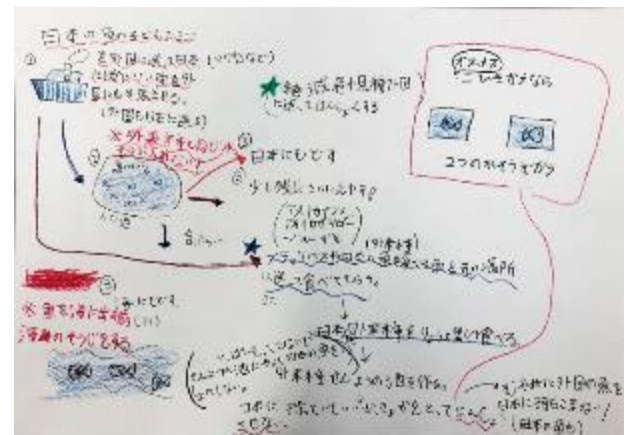
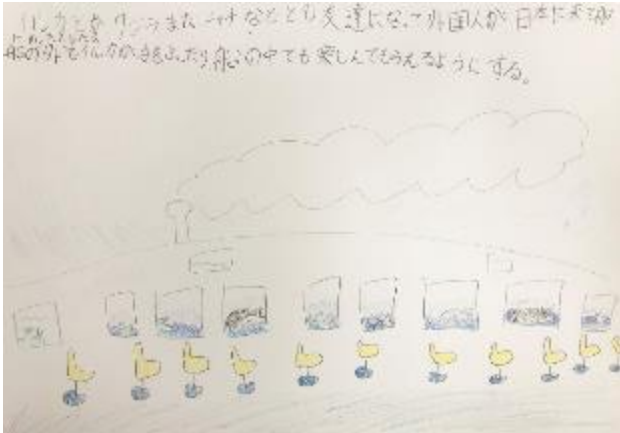




イベント1  
内容

一支国博物館は、豊岐島が古代より朝鮮半島と日本の交易で栄えた島として、様々な遺跡や資料を発掘・整理している近代的な博物館です。その一支国博物館で、参加した子ども達は、古代の人たちが食べていたサザエやアワビの殻を見て、その大きさにびっくり！ 沢山の遺物を鑑賞し、見やすく整理された古代の暮らしのジオラマをみんな楽しみました。そして体験ルームで、体験した豊岐(一支国)の歴史から大陸との交流として重要な島の歴史を学び取ることが出来ました。そして「海」は交流のために重要な役割を持っていました。みんなの海の交流に対するアイデアをたくさん考えてもらいました。

子ども達の海を守り・交流を促進する豊かなアイデアプラン





## イベント2 内容

芦辺町防波堤での釣り挑戦と筒城浜で思いっきり海水浴  
2日目はみんな元気よく朝から準備を行って、みんながとても楽しみにしていたアクティビティの津鈴体験に挑戦です。最初は全然つかみませんでしたが、だんだんとコツがつかめてきて、みんな魚を釣り上げることが出来ました！そして午後は海水浴場へ。今年は筒城浜海水浴場に向かいました。しっかり準備運動を行った後、元気良く海岸で遊びました。少し今年度は波が高かったので、安全面は万全に。季節的に海に入れるぎりぎりの季節でしたが、子ども達は大はしゃぎです。海を通じて素晴らしいコミュニケーションが取れました！

### アクティビティ(釣り&海水浴)





### イベント3 内容

筒城浜でバーベキュー・イルカパークと猿岩探訪

2日目のお昼ご飯は、午前中に連れた魚を子ども達自らさばいてバーベキューに！自分たちが釣った魚はあれだこれだとワイワイ。みんなで楽しく美味しくいただきました。その後、壱岐の風景点描として、「猿岩」見学に。本当に猿そっくりです。そしてイルカパークではイルカの訓練見学とイルカに触れ合えることが出来ました。多くの海の体験を1泊2日に詰め込むことが出来ました。

### 釣ったお魚をバーベキュー・イルカパーク・猿岩





みなとやゲストハウス前で集合写真



Aコース集合写真



Bコース集合写真

事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

### 3)その他(アンケート)

<b>参加者の声(大人)</b>	<p>○とても良いプロジェクトなので子どもがもう少し大きくなったら子どもだけで参加させたい</p> <p>○内容スケジュールと共に充実していてとても楽しかった。子ども同士が仲良くなり、取り組む際も一緒に行き、楽しくなれました。先生方も気さくで楽しい方ばかりで宿も素敵でした</p> <p>○海が少し寒かったですが、BBQも最高でした。子ども達の自由時間で楽しく過ごせたようでした</p> <p>○もともと舌岐は好きでしたが、さらに好きになり住みたくなりました。ただ海のゴミはかなり気になったので海の掃除もしたかったです</p> <p>○子どもが海を身近に感じる事が出来たことが良かったです。もっと釣りがしたかったので釣り竿と釣り餌を(笑)</p> <p>○引率の先生が子ども達のことをよく見て下さって、どの子も楽しそうでした。きれいな海を守っていけるように、家で出来ることを、気を付けていこうと思いました。</p> <p>○子どもが生き生きと楽しそうな様子が見れたので良かった。子どもも釣り体験は初めてでしたが、本当に楽しそうでした。パスを貸し切りにして下さり、かなり広範囲に移動してもらいましたが、じっくり滞在して体験時間を充実させても良かった</p> <p>○子どもと良い思い出が出来たと思います。子ども達の自主性、明るくいろんなお友達との交流がとても良かったです。</p> <p>○子どもが海にまったく馴染みが無かったけれど、とても楽しそうに興味を持って活動してくれたので、とても満足です。普段の生活では体験できないことを積極的に体験させてあげたいと思っていました。子どもが新しいことにすぐに適応があるのを発見して嬉しかったです</p> <p>○舌岐を満喫できました。割と少人数で、異年齢、イベントを通じて大自然と海を生き生きと満喫する娘の姿が見れてよかった</p>
<b>配布資料</b> (資料データがある場合、レポートに添付して提出してください。)	「春住小学校海こら制作展」配布チラシA4サイズ
<b>メディア掲出</b>	長崎長崎県版11月5日(火)掲載 読売新聞社ウェブ「福岡ふかぼりメディアささっとー」



事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

### 3)その他(アンケート)

#### 参加者の声(子ども)

- 海水浴や釣りが楽しかった。めったに釣りをしたことがなかったので
- 海がすごく楽しかった！友達とはしゃぎまくったから
- 釣りや海水浴が面白かった
- いろいろな企画があって、釣りが面白かった
- 海水浴もできて、魚釣りで10匹くらい釣れたからよかった
- 去年平戸プロジェクトに参加して、今年は壱岐で友達と体験出来て楽しかった
- 壱岐島の「猿岩」は本当に猿の形だったから驚いた！
- 一支国博物館で2000年前の壱岐のことがたくさん知れてよかった
- 旅館宿泊が楽しかった
- お友達がたくさんきて、海に入ったのが楽しかったです
- 一支国博物館では知識が増え、宿ではいろんな人といろんな話ができ、釣りでは魚の名前や種類を知り、楽しめて、海水浴では子ども達全員ではしゃいで、バーベキューではとてもおいしいものが食べれて、全部が楽しかったです。
- 猿岩楽しい！イルカかわいい！自然と触れ合えたよ！
- いろいろな思い出を作れた
- いろいろな海の体験を友達とも行けたので楽しかったです
- 釣りを始めて体験できたので良かった
- 魚釣りでたくさん魚が釣れたので、壱岐は自然が豊かだなあ
- 博物館で「昔は人の知恵で生活していた」とあったので驚いた
- いろいろな体験が出来たから楽しかった
- 釣り体験でいろいろ釣れたし、お土産を買うときはワクワクした
- 魚釣りなどもともと海が好きだけど、ワクワクしてもっと楽しかった。自分が知らない魚などが釣れて、名前を覚えてもらったりして来て良かったと思う
- めっちゃくちゃ魚が釣れて、ご飯もおいしかった。色々な人と自分は触れ合い遊ぶことが出来るということを理解した
- 魚釣りの魚のさわり心地がよかった
- とつものびのびできて、釣りや博物館も面白かった。魚をたくさん釣って、BBQが出来たりへやでゆっくり出来たりして良かった。友達と協力することは大切だなと思った
- イルカも見れたし、博物館も楽しかった。先生たちもやさしくて話しやすかった
- 釣りや色々な友達に出会えた。海にもこのような不思議や魚の種類などがこんなにあるんだとおもいました。
- みんなと協力して楽しかった。
- 魚釣りやバーベキューが楽しかったです

事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

## 1)オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	芸術大学ワークショップ～海と日本PROJECT～
イベントの目的・ねらい	<p>事前に計画に入っていなかった「芸術大学ワークショップ」でした。一年を通じて新型コロナウイルス感染症拡大防止の中、「海こら」プロジェクト地である平戸市根獅子町が、プロジェクトの受け入れ中止を決定しました。その代替わり子ども達の体験と創作といった表現に結び付ける新たな試みとして「芸術大学ワークショップ」は立案されました。</p> <p>子ども達の想像力は無限で可能性に溢れています。「海」の体験や直接触れていないものまでも想像や創意によって大人が及びもつかない豊かな創作表現を行うことが出来ます。ワークショップでは、「海の生き物」をキーワードに「動く」工作の仕組みを取り入れた造形物を作り上げます。2つのテーマを融合するために子ども達は様々な試行錯誤を繰り返します。大人はその手助けやほんの少しの背中を押す役割に徹します。</p> <p>工作作品が出来上がる頃には、自分の「海の生き物」は自分の工夫によって生き生きと動き出すことでしょう。作品作りの満足がそのまま海や海の生き物への知識と体験に繋がります。</p>
日程	2020年10月18日(日) 10月25日(日)の動く工作おもちゃ制作
開催場所	福岡県福岡市東区九州産業大学造形短期大学部
参加人数	150名(小学生及び幼児、保護者及びスタッフ含)
主催	山王ひなた美術教室
共催	
協力	九州産業大学造形短期大学部森下研究室
告知方法	自団体ウェブサイトおよびフェイスブック・ブログによる告知。福岡市及び福岡市教育委員会後援による指定小学校へのリーフレット配布(15,000枚)。福岡市中央児童会館や市役所へのB2ポスター掲示。

事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

## イベント1 内容

### 芸術大学ワークショップ

本プロジェクトは、福岡市東区にある九州産業大学造形短期大学部と学部内の森下研究室そして在学の学生たちの全面協力のもと実施されました。普段は入れない美術大学の設備と空間を使ってコロナ感染症防止に務めながら広いスペースをぜひたくに使って子ども達の造形ワークショップを実施しました。





# ワークショップの様子





ワークショップ作品



皆でできた作品と共に記念撮影





事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

### 3)その他

<b>参加者の声(大人)</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○海の生き物を知る機会にもなり楽しかったです</li><li>○小さなお子さんも高学年も楽しめる内容で良かったです。普段入らない大学内で工作できたこととても有意義でした</li><li>○工作も楽しかったし、みんな親切でやりやすかった。とても充実していました。無料で開催しているとは思いませんでした</li><li>○親子で楽しめて、子どもが夢中になっていたから大満足でした</li><li>○工作がよりすきになれたようで良かったです</li><li>○海の生き物について知る機会になりました。親子で楽しめて良い機会になりました。</li><li>○子どもが楽しそうに参加できていました</li><li>○子どもがじっくりと工作が出来てよかったです。親が思っているより絵が上手だな、アイデアがあるなど嬉しくなりました</li><li>○子どもと一緒に一つの作品を作る楽しさを学ぶことが出来ました。設置されていたガチャガチャ等の遊びが子どもも喜んでいました</li><li>○毎年楽しいイベントありがとうございます</li><li>○家ではできない工作体験が出来てよかったです！</li><li>○仕掛けがすぐくて無料とは思えないクオリティに仕上がったので大満足です</li><li>○今回のイベントを通じて、子どもが考えたこと、ものを、たくさん見たいし作る機会を増やしたいと思いました</li><li>○スタッフとして入っている学生の皆さんの親切さに驚きました</li><li>○アシストしてくれている大学生が子どもの作品を上手にほめてくれていました。制作時間が長かったですけど子ども達がずっと楽しそうに作っていたことに驚きました</li><li>○芸術大学がどんな所かわかり、学生さんもとても親切で参加して本当に良かった。学生スタッフの声掛けや動きが素晴らしかった！</li><li>○いろいろな材料を用意してくださり子どもも楽しく工作が出来ました。魚の本から好きな魚を自分で選び出し、好きなように工作が出来ていました。周りのスタッフも親切ですぐに聞くことが出来ていました</li><li>○日本財団や美術教室の趣旨を知りとても為になりました。子育てに役立てたいところがたくさんあって、とても良かった</li><li>○海工作を楽しんでいました。もっと作り方の説明が伝わりやすければよかったです</li><li>○子どもの創造力に繋がり、子どもとのコミュニケーションもとれ、楽しく時間を使うことが出来ました。</li><li>○子どもが自分で考えてお魚を作り、動く仕組みを考えながら行えたので大満足です</li><li>○いろいろなデコレーション材料もそろっており、先生方がていねいにおしえてくださって、およとしてとても楽しかったです</li><li>○子どもが楽しく集中して作っていて、適切にアドバイスをいただきました。大学の中で教えてもらえて、大学というものを少し身近に感じられたのが良かった</li><li>○子どもの好奇心、創造性、創造力を伸ばす機会になったと思います</li><li>○イベント工作以外も作れたり、スタッフの方がほめたり手伝って頂けたのが良かったです。動作が動かない時に一緒に工夫したり調整してくれたことがとてもありがたかったです。次も参加したいと子どもが話していたのがうれしかったです</li><li>○想像以上に手の込んだ工作キットでした。終始真剣に取り組んでいました</li><li>○お魚の絵を実際に描いてみると部位のついている位置や動き・動き等感心がわかりました。コロナ禍でも工夫してプロジェクトを実行して頂いたことに感謝いたします</li></ul>
<b>配布資料</b> (資料データがある場合、レポートに添付して提出してください。)	



事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

### 3)その他

参加者の声(子ども)	<ul style="list-style-type: none"><li>○作るのが楽しかった。出来上がりがかわいかった</li><li>○少し難しかったけれどうまく作ることが出来た。沢山の人に協力してもらってとてもありがたかった</li><li>○思っていたものと違って、出来上がったのがかわいかったです</li><li>○いろんな先生が教えてくれたり優しくかった。飾り付けが楽しかった</li><li>○難しいけど最後まで出来ました。サメは難しいということが分かりました</li><li>○先生が優しくかったからまた来たいと思いました</li><li>○またしてください</li><li>○物が作るのが好きでめっちゃ楽しかったです</li><li>○魚を作ったりガチャガチャしてキラキラの飾りをつけるのが楽しかった</li><li>○海の魚を描いて楽しむことが出来ました。久しぶりに絵を描いたり家で出来ないことが出来てよかったです</li><li>○からくりの魚が作れてすごいと思いました</li><li>○いろいろな魚が海に入るんだなと思った</li><li>○魚を描くところが楽しかった</li><li>○飾り付けとか工作を作ることが楽しく、それ以外もとても楽しかった</li><li>○ハナミノカサゴがいろんな色をしていてきれいだということを知った。魚にもいろんな種類があることを知った</li><li>○飾ったりするのが楽しかった</li><li>○いろいろ作れて、からくり工作の仕掛けが少しわかったような気がした</li><li>○工作を通じて海の生物について知ることが出来て、とても素晴らしい活動だと思った</li><li>○いろいろ学べて、自分がやりたいことが出来た</li><li>○魚を作ったら魚が動くとは思わなかったです。いろんな部分をつけたり貼ったりしました。楽しかったです</li><li>○最初はいやだなとおもったけど、やってみたら倍の倍の倍楽しかったです</li><li>○海と魚について考察したところが楽しかったです</li><li>○難しいサメの絵が描けて楽しかった</li><li>○すごかせるところがすごくて全部面白かったです</li><li>○本格的な工作で楽しかった</li><li>○亀つくったから楽しかった</li><li>○自分だけだとお魚描かないけど、今回描けたから</li></ul>
------------	--

事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

## 1)オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	お寺でお魚絵画コンテスト～海と日本PROJECT～
イベントの目的・ねらい	<p>みんなが普段食べているお魚の料理は何でしょう？アジフライ？お刺身？皆が普段知っているお魚はどれくらいいるかな？博多区光薫寺のホールを舞台に、たくさんの九州のお魚たちがずらりと並びました。参加したみんなが観察しての、絵画コンクール制作でしっかりと海をキャッチしました。今年はコロナ感染症防止のために福岡の鮮魚市場でお魚を集めることはできなかったけれど、その分パワーアップして漁港から直接お魚さんを運んじやいました！</p> <p>普段知っているお魚や名前を知っているお魚、そしていったいこれは何？というような食べれないお魚さんたちまで、漁師さんが普段あまり魚に触れたことのない福岡の子ども達にもっと魚や海に興味を持ってもらおうと事前にたくさん集めてくださいました。中には毒を持った魚や不思議な形をした魚まで。</p> <p>みんなこんなにたくさんの海の生き物を見たことがなかったので大興奮と集中しての観察となりました。この間近で観察する行為によって、これから表現する絵画作品にリアリティ(似ているということではなく迫真性や魅力)が付与されます。子ども達も思ってみなかつたくらいのアウトプットとしての作品作りとなります。</p> <p>また制作後は、出来立ての魚料理を試食することで、食べなれていない魚料理や、食わず嫌いの魚にも興味を持って食べてもらうことにつながると考えています。</p>
日程	2020年11月14日(土)
開催場所	光薫寺ホール(福岡市博多区山王1丁目)
参加人数	150名(小学生及び幼児、保護者、スタッフ含む)
主催	山王ひなた美術教室
共催	
協力	九州産業大学造形短期大学部 野子漁港 NPO法人ひらど海てらす ペペオジャパン ターナー色彩等
告知方法	自団体ウェブサイトおよびフェイスブック・ブログによる告知。福岡市及び福岡市教育委員会後援による指定小学校へのリーフレット配布(15,000枚)。福岡市中央児童会館や市役所へのB2ポスター掲示。

## イベント1 内容

平戸市野子漁港から集めてきた九州のお魚を観察して、絵画制作  
福岡市の海の台所「長浜鮮魚市場」はコロナ禍によりお魚の仕入れを行うことが出来ませんでした。しかし、その代わり直接平戸市の最南端にある野子漁港から驚くばかりのお魚さんたちが、光薫寺にやってきました！普段子ども達は料理されたお魚しか見たことがないので、目の前にある不思議なお魚さんたちに大興奮しました。さあ、みんなのキラキラした目で早速お魚たちを観察です。自分の観察で写し取れたら、豊かな色彩で彩色しましょう。絵画の世界は自由で、みんな自分の色を見つけ出して素晴らしい作品に仕上がりました！想像で描くよりも、「体験」が伴うだけでこんなにも素敵な作品に出会うことが出来ました。

平戸から直送された、絵になることを待っているお魚たち





光薫寺お魚絵画コンクールの様子



光薫寺お魚絵画コンクールの様子





光薫寺お魚絵画コンクールの様子





## イベント2 内容

### 仕入れたお魚のびっくり試食会

光薫寺のホールの横には大きな台所があって、毎日お寺の人たちのご飯を作る台所になっています。その調理場をお借りして今回のお魚さんを、子ども達にも食べやすいように料理を作るスタッフが美味しく作ってくれました。アクアパッツァにアジフライ、魚のつみれ汁にタイのフリッターなど、新鮮なお魚が美味しい料理に早変わりです。みんな一生懸命制作した後は、みんなで美味しくいただきました！

### 光薫寺お魚絵画コンクール終了後のお楽しみ！お魚さんたちの豪華なお食事



事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

### 3)その他

参加者の声(大人)	<ul style="list-style-type: none"><li>○子どもがとても楽しそうでした</li><li>○お魚の絵を描くときにいろいろとアドバイスがもらえるのが良かった</li><li>○いろいろな本物の魚が見られた</li><li>○本物のお魚を目の前にして、動いているところをどう描くか知りたかった。子どもにはよく観察することを理解してくれて嬉しかった</li><li>○家では絵具を中々使わないので良い体験でした。魚は実物を見ながら書くことはないので、珍しい体験が出来ました</li><li>○すごくいいイベントだと思います。実際に本物のお魚を見ることが出来て子どもが喜んでいました</li><li>○本物の魚を見て絵を描くという機会はなかなかないので良い体験になりました。色の塗り方などアドバイスを頂いて本人もとても楽しそうでした</li><li>○水彩画を描く機会がなかったので良かった。子どもがペンでお絵かきをすることが多いので鉛筆や絵具を使った絵も描いてほしいと思いました</li><li>○初めての体験で新鮮でした</li><li>○今まで見たことのない魚を見ることが出来て身近な海でも知らないことだらけでたくさんの生き物があるんだなーと。親子で実感できて良かったです。絵画の制作も楽しかったようです。</li><li>○子どもが楽しそうに充実した時間を過ごせたようです。今後は切り身ばかりでなく調理前の魚も観察させたいと思いました</li><li>○お魚の種類も多く先生方の指導も良かったです</li><li>○実際に魚が並んでいる様子に興奮しました</li></ul>
配布資料	
メディア掲出	
その他特記事項	

事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

### 3)その他

#### 参加者の声(子ども)

- たくさん魚が知ることが出来て、魚の絵を描くことが楽しかった
- 毒のある魚は、こんなふうには派手な模様のももあるんだと驚きました。危ないということがわかったし、どんなふうの効き目の毒かもわかって嬉しかったです。また来る機会があれば来てみたいです
- いっぱいおしえてくれて絵がかわいくなったから
- 絵をいっぱいかけて色の塗り方がわかって良かった
- 本物の魚を見て絵が描けたし、集中することもできて良かった
- いろいろな魚が見れて、魚は色々な色でカラフルだったので驚いた
- もともと絵を描くのが好きで、猫みたいな魚が見れて嬉しかった
- いろんな魚がいて、どれにしようか迷った。また絵をかくときに先生がこんなことをしたらいいよと教えてくれたから
- いろんな魚をみて描くのが楽しかったです
- イルカがいないのが残念でした
- 絵を描いたり本物のお魚さんが見ることが出来たから楽しかった。漁師さんがとってきてくれたおさかながあっぴゅりした
- 色々な魚があっぴゅりしたよ
- ふつうの色でぬったりするより赤色やピンクを混ぜたりしたら不思議な魚が出来ました
- プロの人たちがこうしたらいいんじゃないとアドバイスをくれたり、いろいろあるけどとにかくよかった！楽しかったです！楽しくないわけがない！魚にもっと興味を持つことが出来た！×100
- いろんな魚を描いたのが楽しかった
- 本物の魚を見たり、描けたりしたから楽しかったです
- 魚をいろいろ見れて、絵の塗り方を教えてもらって楽しかった
- 本物のお魚がたくさん見れた。絵本でしか見たことがなかったお魚を初めてみて嬉しかった
- 面白い魚を見ることが出来た
- いろいろな魚も見れたいい作品が描けたから
- 知っていたけれど見たことのない魚がいたので見れて良かった
- いろいろな魚がいて触れたり出来ました。知らなかった魚の名前があっぴゅりして良かった
- 絵具でぬるのがたのしかった。魚の種類がいっぱいあるのがたのしかった
- 毒のあるさかなもいっぱいいたし、いろいろ珍しい魚も見れて楽しかったです。



事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

## 1)オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」絵画コンクールの実施と展示 海と日本PROJECT～
イベントの 目的・ねらい	<p>一年を通じて実施してきた「海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」」プロジェクトに参加した子ども達は、プロジェクトを通じて色んな海の顔を学んだり、体験することが出来ました。その体験をもとに、「①海の生き物②海の困りごと解決③海の暮らし」3つのテーマにて絵画コンクールを開催しました。福岡県各地から多くの作品が集まりました。コロナ感染予防に万全を期したうえで、子ども達の体験の成果を是非皆さんに見てほしいと考え、展覧会を開催しました。</p> <p>プロジェクト最後の企画となる本展は、参加者だけでなく、参加した子ども達の海の体験をどのように自分の中で昇華しているか追体験する試みです。今回の事業を通じて、子ども達が積極的に海のテーマを考え、絵画制作に主体的に参加し、手を動かす楽しさと共に、プロジェクトで体験したことをしっかりと思い返して、福岡の海をより素晴らしいものにしようとする取り組みを表現することが出来ました。自ら考え、作り、提言する。コロナ禍によって大幅に日程が変更となり、今年の空きから冬にかけて行った、『海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」』は、参加した子どもたちにとってかけがえのないプロジェクトとなりました。</p>
日程	2021年1月21日(木)～24日(日)の4日間
開催場所	福岡県福岡市博多区 福岡アジア美術館
参加人数	4日間で述べ350名(小学生及び中学生、幼児、保護者)
主催	山王ひなた美術教室
共催	
協力	九州産業大学造形短期大学部 大国ダンボール ペベオジャパン ターナー色彩等
告知方法	自団体ウェブサイトおよびフェイスブック・ブログによる告知。福岡市及び福岡市教育委員会後援による指定小学校へのリーフレット配布(15,000枚)。福岡市中央児童会館や市役所へのB2ポスター掲示。展覧会用B2ポスター、A3ポスターを美術館掲示。

事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

イベント1  
内容

「海こら」絵画コンクール

一年を通じて実施してきた「海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」」プロジェクトに参加した子ども達は、プロジェクトを通じて色々な海の顔を学んだり、体験することが出来ました。その体験をもとに、「①海の生き物②海の困りごと解決③海の暮らし」3つのテーマにて絵画コンクールを開催しました。福岡県各地から多くの作品が集まりました。コロナ感染予防に万全を期したうえで、子ども達の体験の成果を是非皆さんに見てほしいと考え、展覧会を開催しました。



受賞した主なコンクール作品



## イベント1 内容

### ランドスケープ制作

教室中央のテーブル(2360×1976mm)上に「ふくおか」の土台を準備し、各プロジェクト後に作った模型を設置しました。模型のアイデアシートをガーランドのように飾り、配置した模型と数字で紐づけ、鑑賞者が模型の機能やデザインのこだわり、詰め込んだ発想をキャプションとして楽しめるように工夫しました。自分の作った模型をみつけた本人や保護者の方からは歓声があがり、詳しい制作秘話や、ほかのお友だちとの関係性、大きさの比較や海との関りについて、話を深める場面があちらこちらで見受けられました。

### 福岡アジア美術館展覧会会場の様子





# 福岡アジア美術館 展覧会会場の様子



福岡アジア美術館展覧会会場の様子



事業ID:2019523266

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2020)

団体名:山王ひなた美術教室

## イベント2 内容

### 展覧会最終日の授賞式

コロナ感染防止対策を万全に、4日間の短い会期でしたが、福岡の多くの方々が子ども達の海に対する豊かな表現を鑑賞しに来場くださいました。そして最終日には優秀作品の表彰を行いました。

ちょっぴり恥ずかしそうで、でも誇らしげな子ども達の笑顔が印象的でした。



授賞式風景



### イベント3 内容

#### 授賞式及び審査の様子

今回の「海こら」絵画コンクールは、福岡各地から多くの作品が集まりました。作品の審査には、九州産業大学芸術学部教授、そして造形短期大学部学長も駆けつけて、ゆっくり丁寧に審査してくださいました。甲乙つけがたい表現の多様さに、普段から作品を多くみている先生たちもびっくりしていました。是非来年度も皆さん多くの「海こら」イベントに参加いただき、豊かな海を想像してみませんか！



授賞式及び審査風景